

気っ風のいい情報を発信

KITA ISHIKARI PUBLICATION

1

JANUARY

2018 No.225

謹賀新年
元旦



あけましておめでとうございます。
【今年はいぬ年です】

 JA北いしかり | 広報誌
<http://www.ja-kitaishikari.or.jp>

恭賀新年



会長理事

佐藤 彰

平成30年の初春をご家族皆様ご健勝で迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は、農協事業の推進にご協力頂き、誠にありがとうございます。本年も、役員員一致団結して、農協事業の向上を図ってまいりますので、組合員の皆様のご更なるご支援を宜しくお願い申し上げます。

送りました平成29年は、米国トランプ大統領が、選挙公約でもあったTPP協定からの離脱を表明し、世界的なニュースとなりました。その後、日本を中心とした11か国での交渉が再開され、TPP11（イレブン）協定として大筋合意に至ったところで

あります。また、日本とEUとの貿易交渉が急展開で妥結することとなり、農畜産物の輸入増加による国内農業への影響が大変危惧される状況となりました。そのような中、農業競争力強化支援法が施行されるとともに、畜産経営安定法の改正が行われ、主要農作物種子法までが廃止されることとなりました。このことは、国産農畜産物の競争力を高め、海外へ輸出拡大していく政策に通じるものと考えられますが、45%を目標としている食料自給率が、じりじりと下がり続けて38%となっている現状を考えると、強い違和感と危機感を抱かざるを得ません。新自由主義を基本としたグローバル経済が行き詰まりを見せ始め、世界の平和と食料に赤信号が点滅している情勢にあつて、日本が進めるべき政策の再考を願うものです。

本年は、平成から新しい元号に改元されます準備の年となりますが、本年が組合員皆様にとりまして、実り豊かで幸多き一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

会 長	佐藤 彰
代表理事	川村 義宏
専 務 理 事	且見 英和
常 務 理 事	小林 正美
管 理 金 融 委 員 長	野尻 博康
管 理 金 融 委 員 長	本屋路喜代史
管 理 金 融 委 員 長 代 行	加藤 博典
管 理 金 融 委 員 長 代 行	本多 寿典
理 事	伊豆原信一
理 事	湯浅 秀樹
理 事	清水 徳幸
理 事	藤田 靖
理 事	宮本 晃一
理 事	小笠原英史
理 事	滝本 弘
理 事	寺山 広司
代 表 監 事	藤澤 寛
常 務 監 事	松本 博美
監 事	笹 賢一
監 事	泉 吉満

恭賀新年



代表理事組合長

川村 義宏



平成30年の新年を、組合員の皆様が健やかに迎えられました事を役職員一同心より御喜び申し上げます。

昨年は融雪も早く4月・5月の天候も暖かく穏やかでしたが、5月下旬・6月上旬の天候不順を心配しました。そのうち7月下旬以降天候が回復し、秋小麦を始めとする麦類の収穫は順調に進み、概ね平年並みの収量を確保しましたが小粒傾向になりました。水稻においても冷害危険期に天候の回復により生育も平年に追いつき、登熟期間の長さが幸いし作況105になりました。青果物についても概ね平年並みの収穫を得ましたが、人参・花卉においては思っ

た販売単価が得られませんでした。畜産においては和牛を始め高値が確保されました。総じて事業計画を十分達成する見通しであります。

この事は組合員の皆様の努力と、ご理解ご協力の賜物と心より感謝すると共に御喜び申し上げます。

近年農協を取り巻く情勢は農協の自己改革が強く求められ、特に来年までに公認会計士による監査を受ける体制でなければなりません。また米政策の改革、第7次計画でうたっている輪作体系の確立、昨年9月に開業した道の駅に積極的に取り組んでまいります。さらに担い手不足に対しては人材紹介業務などを通じ、地域の農業を守り振興を図ってまいります。本年は第7次中期経営計画、農業振興計画の最終年であり、改めて組合員皆様の農協への結果とご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。本年も稔り多き年となる事と、御家族を含めた皆様のご健勝を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

参	事	河村 重樹
金	融 共 済 部 長	荒関 淳一
營	農 振 興 部 長	加来 剛
生	産 販 売 部 長	青山 雅之
購	買 部 長	奥村 勇二
西	当 別 支 所 長	長谷川 司
厚	田 支 所 長	浜尾 和美
		他職員一同

北石狩農業協同組合青年部部长

有澤賢太郎
他職員一同

北石狩農業協同組合女性部部长

久慈 貞子
他職員一同

あけましておめでとーうございませす

本年も昨年と変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます

本所事務所理容室 店主 小池 曉

扇谷歯科医院 院長 扇谷 泰典

他職員一同

新年を迎えて

北石狩農協青年部

部長 有澤賢太郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、昨年は当青年部活動に対しまして組合員の皆様とご家族、役職員の方々にはご理解ご協力を頂きましたことを深く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、雪解けは早かったものの、台風の影響や断続的な降雨による収穫の遅れがありました。概ね平年作ではありましたが、一部品目の単価の急落など苦しい思いをされた方もいらっしやったことと存じます。

国政においては日欧EPAの大枠

合意やTPP交渉のアメリカ離脱など国際的な貿易ルールには目まぐるしい動きがあり、米の生産調整の見直しなどといった農政の変化が我々農業者にどういった影響を及ぼすのか不透明な状態が続いております。

このような中、我々青年部と致しましては、学習会等で情報収集を怠らず、今、この時代に必要な知識を深められるよう検討し、また、交流会では部員同士思いやり助け合い、このような時代だからこそやるべきこと、できることをみんなで考えて参りました。

最後になりますが、我々青年部は子供たちや消費者との繋がりを大切にし、安心安全な農産物を生産することで「食」の大切さを伝え、これからの時代の担い手として地域農業を守って行きたいと考えています。本年も組合員とご家族の皆様、役員の方々にはご指導ご協力の程お願い申し上げますとともに、皆様のご健康を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

北石狩農協女性部

部長 久慈貞子



新年あけまして、おめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に対し組合員の皆様、ご家族、役職員の方々のご理解とご協力を頂き深くお礼申し上げます。

昨年度はJ A北海道女性リーダー研修会「家の光」大会が札幌パークホテルで開催され、全道各地から550人も女性部員が集まり、講演会や家の光の記事活用事例発表、手作り工夫展などが開かれ、日頃ふれあう機会の少ない全道各地の仲間と有意義な交流を深めることができました。私達女性部はJ Aをよりどころとし、食と農に関する活動、ふれあい、助け合いのある住みよい地域社会作り、J Aへの積極的な参加、参画という重要な役割を担っています。部員減少という課題もありますが、支部や

地域の活動に尽力し、その役割を果たして参ります。

平成29年度J A北海道女性協議会国内農業視察研修（道内12名参加）に参加して参りました。広く国内の農業や施設を視察し、現地の農業者や関係者との意見交換や交流を通して女性部員の見聞を高め、地域や協同活動や生活の向上に資するとともに、事業の活性化や組織の強化に繋げることを目的としています。福岡県J Aにじで行われている協同活動の概要、J Aさが直売所「うちの畑」の視察。J A菊池協同活動（女性部員との意見交換会）。J A熊本県女性組織協議会（活動内容、女性部員との意見交換会）。このような研修を通じて、それぞれの女性部員が活発に活動されている事から改めて女性パワーの強さを感じられました。

本年度の女性部活動も部員の意欲的な活動の取り組みを中心として、各研修会や交流会への参加、地域コミュニティー活動の参加など女性部で学んだ事を基軸として、仲間を作り、住みやすい社会作りを目指して参ります。部員一同、健康で豊かな気持ちで活動したいと考えています。本年も組合員の皆様とご家族、役職員の方々にご指導ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

平成30年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施

設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではあります。昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った「それでも種をまく。」という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されるところです。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様方の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであり本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづく

り・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになります。今年のご干支は戊戌(つちのえいぬ)です。

一説には、戊は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことであります。

今年、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊稔の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



振り返って

第18回 北石狩農業協同組合通常総代会



4月13日、本所大ホールにて第18回通常総代会が開催され、議案は原案通りに全て可決されました。特別決議のJA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議（案）についても、満場一致で承認されました。



4月7日、8日の2日間、本所購買事務所前にて春の農機具展示会を行いました。大勢のお客さんが訪れ賑わいを見せていました。



「はなポケット上当別店」では5月6日より今季の営業をスタートし、11月5日までの土日と、8月10日、11日には平日営業を行いました。10月7日の収穫祭では試食コーナーを設け、地場産農畜産物をPRしました。



5月8日よりアスパラガスの共選がスタートしました。今年度もメロン、人参、南瓜、馬鈴薯等の共選も行き、JA北いしかり産の青果物が全国各地へ出荷されました。



7月14日、第42回石狩管内肉用牛共進会が行われ、当別町市川政廣氏の出品牛（たんぼぼ号）が未經産の部で最高位賞を受賞しました。



7月20日、女性部本部は毎年の恒例行事である部員交流会を開催しました。部員56名が参加し、浜益善盛園でさくらんぼ狩りとバーベキューを楽しみ親睦を深めました。



7月24日より、上当別麦ばら調製施設で小麦の受入がスタートしました。収穫時期には豪雨に見舞われ、収穫の遅れが懸念されましたが、無事に収穫を終えることが出来ました。

2017年を



8月19日、本所職員駐車場・中庭にて「JA北いしかり感謝祭」を開催しました。組合員や地域の方々等、約1,000人が来場し大いに賑わいました。



8月26日、西当別野菜集出荷施設で「ひまわり収穫祭」が開催されました。女性部による飲食コーナー、青年部の縁日コーナー、新鮮な野菜の販売コーナー等、どのコーナーも賑わいを見せていました。



青年部各地区では、5月～12月まで小学生を対象に食育活動として、農業体験学習を行いました。当別地区は大豆、西当別・厚田地区は水稲、浜益地区は馬鈴薯の内容で行いました。



「はなポッケ道の駅」が9月23日にグランドオープンしました。11月5日の最終営業まで連日大勢のお客さんが訪れ賑わいました。今年度の営業は4月下旬より開始の予定です。



9月20日、さっぽろライスターミナルで平成29年産米の出荷がスタートしました、今年も品質の良いお米が出荷され、10月31日まで出荷が行われました。



11月5日、当別花卉生産組合では、「地元の方々には花をもっと身近なものとして感じてもらい、楽しんでもらうこと」を目的に、プロのデザイナーを講師に迎え、「フラワーアレンジ講習会」を開催しました。



「第7回米-1グランプリinらんこし」決勝大会に、当地区より「北石狩YES! clean米生産部会、ななつぼし」、「青山雅典氏、ゆめびりか」、「小笠原英史氏、おぼろづき」が出演し、それぞれ銅賞を受賞しました。

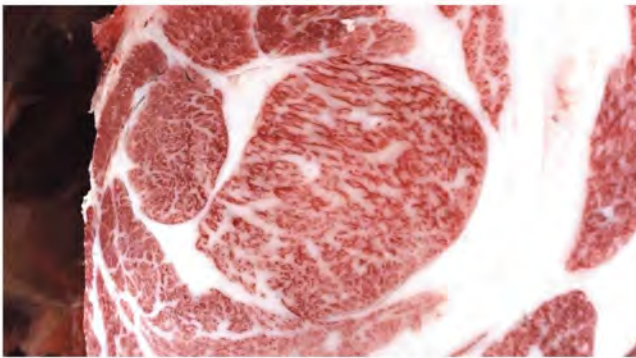


JA北しかり トピックス



平成29年度北海道枝肉共励会 〜黒毛和牛の部〜

11月29日〜12月2日に、帯広市の(株)北海道畜産公社道東事業所十勝工場にて平成29年度北海道枝肉共励会、黒毛和牛の部が開催されました。全道各地から102品の枝肉の出品があり、枝肉重量、歩留、肉質等、10数項目により審査が行われた結果、当地区より出品した当地区の青山眞士氏の枝肉が、見事優秀賞3席を受賞しました。おめでとうございます。



優秀賞3席受賞 青山眞士氏出品の枝肉

青年部子ども農業体験学習 〜当別ブロック〜

11月29日、青年部当別ブロックは、当別小学校5年生を対象に豆腐作りの体験学習を行いました。

豆腐作りの他、大豆の栽培についての学習も行いました。学習会では児童から大豆を作った嬉しかった事や大変な事などの質問を受け、参加した部員は「天候に左右されながらも良い大豆が出来た時が嬉しい」と回答していました。給食の時間には出来上がった豆腐を部員と児童と一緒に食べ、今年4回行われた農業体験学習を締めくくりました。



豆腐作りを行う児童と青年部員

青年部子ども農業体験学習 〜西当別ブロック西当別地区〜

12月19日、青年部西当別ブロックでは、西当別小学校3年生を対象に今年度3回目の農業体験学習を行いました。

今回は「おにぎり集会」と題して、児童それぞれがお米の品種や病気、歴史や機械等についてまとめた、お米新聞の発表会が行われ、青年部員はよく調べられていると感心していました。発表会の後には、青年部員と児童がおにぎりを作り、一緒に食べて1年間の農業体験学習を締めくくりました。



児童たちとの記念撮影

青年部本部学習会

11月30日、本所大ホールにて青年部学習会を開催し、41名の部員が参加しました。

講師にファームエイジ(株)河合拓氏、当別町農務課農務係長東野孝裕氏の2名を迎え、河合氏より「鳥獣害対策について」、東野氏からは「農業支援に係る補助事業について」講演を受け、参加した部員は真剣に耳を傾けていました。

学習会終了後には、懇親会を開催し、部員同士親睦を深めました。



講演を聞く青年部員



当別ブロック 陶芸教室

女性部活動紹介「陶芸教室。
しめ飾り作り。女性部の集い」

11月29日、女性部当別ブロックでは、陶芸教室を行いました。江別市のアトリ工陶より講師を迎え、部員等25名が参加しました。

12月5日～6日には、女性部西当別ブロックで毎年恒例のしめ飾り作りを行いました。両日とも25名程が参加し、玄関おかしめ・神棚等を作成しました。

厚田ブロックでは、12月8日に女性部の集いを行い、部員30名が参加し、脳トレ、ピンゴ大会を行いました。

ご案内

平成30年1月31日(決算棚卸監査日)の営業時間変更について 《購買部門》

組合員の皆様方には、日頃より購買事業に対し特段の御理解と御利用を頂き厚く、お礼申し上げます。

つきましては、平成30年1月31日の営業を下記の通りとする事と致しましたので、何卒、ご理解をお願い致します。

平成30年1月31日(水) 午後休業(12時迄営業)
該当部署…本所・支所 生産資材部門・農機部門

新しい年を迎えて

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

支所長 増子優子



新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成30年の新春をご家族とともに迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、皆様には特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の気象を振り返ってみますと、積雪が少なく、融雪期は平年より12日早まり、ほ場の乾燥が順調に進みました。耕起盛期は水田で2日、畑地で8日早く、各作物の作業は順調なスタートを切ることができました。

しかし、6月の記録的な降雨、7月前半の高温多照と後半の多雨、9月以降は断続的な降雨と不安定な天候が続く、は種・移植作業や防除等の管理作業、また、収穫作業にご苦労された方も多かったと思います。近年多く見られる、気温や降水量が極端に変動する厳しい気象条件下にあっても、秋まき小麦や水稲など主力作物の収量は、平年を上回る結果となりました。

このように、確かな実りが安定して実現できていることは、ご家族や地域が力を合わせ、弛まぬ努力と長

年にわたる基盤整備や土づくりなどの取り組み、栽培管理技術の高さを現す結果とあらためて敬意を表します。

農業の担い手不足・高齢化が叫ばれる中、多様な担い手が生き生きと安心して働き続けることのできる労働環境を構築することが急務と考えます。

北海道は、スマート農業の推進に取り組んでおり、その中で普及センターでは、人の手による作業負担を軽減するツールや手法の紹介など、地域のニーズに応じた省力化技術を提案してまいります。

国内外の農業情勢がめまぐるしく変化し、先行きが不透明な状況ではありますが、普及センターとしては、今後とも皆さまのさらなるお力添えもいただきながら、基本となる生産力のさらなる向上とともに多様な担い手の確保や女性の能力発揮、北石狩型輪作モデルの構築に向けて引き続き支援してまいります。

結びに、本年が輝かしく豊かな年となると共に、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

主要園芸品目の生育状況

気象

- ・平成29年度は積雪深が平年より浅く、3月の日照時間が平年よりも長かったことから融雪期は平年よりも早かった。その後も5月3半旬を除き、天候には恵まれ、高温で推移した。
- ・6月は前半と5半旬が多雨であり、5半旬の降水量は平年の6倍であった。そのため日照時間は平年よりも少なかった。
- ・7月は前半に平年を大きく上回る高温多照で推移した。しかし、4半旬は平年の3倍以上の多雨であったため、7月全体で見ると日照時間、降水量は平年並であった。
- ・8月は低温寡照で推移した。また、3半旬には平年の3倍の降水量であった。
- ・9月の前半の気温は低温で推移した。また、3半旬には台風の上陸により平年の3.5倍もの降水量となった。9月5半旬には台風一過の影響により高温が続いた。また、断続的な降雨により不安定な天候が続いた。
- ・10月は2半旬を除き、低温で推移した。また、月全体で見ると寡照であった。

野菜

作物名 (主な品種)	作型	生育概況、障害、生産、出荷、品質等
アスパラガス 〔ウェルカム、 ガインリム〕	露地	共選は5月上旬から開始された。5月は少雨で推移したため、ほ場の乾燥状態が続 き、出荷量は伸び悩んだ。また、水霜による低温障害や強風と土埃の影響による曲が り症状が時折見られた。 共選は6月末で終了した。出荷量は回復せず、目標対比で75%程度に留まった。
にんじん 〔向陽2号、 晩抽天翔〕	春まき 及び 晩春まき	4月下旬からは種作業が始まり、出芽が概ね順調であった。 6月中旬の寡照により生育は緩慢となり、茎葉も軟弱徒長傾向となった。5月の低 温による抽苔と、一部ほ場でネグサレセンチュウ類による加害痕や黒しみ症状が散見 されたが、出荷は順調に進んだ。共選は8月上旬から始まり、10月中旬で終了した。
かぼちゃ 〔栗五郎、 くり将軍、 えびす〕	露地マルチ	セル苗の定植作業は5月上旬から、直播のは種作業は5月中旬から始まった。6月 の天候不良で生育が緩慢だったほ場では、子づる伸長と雌花の着蕾が確認された が、葉も小さい傾向で葉面積の確保は十分ではない株が散見された。 うどんこ病の発生が確認されたが、草勢の強いほ場では被害が少なく、日焼け果も 少なかった。果実斑点細菌病の防除が徹底されていたため、全体的に突起果が少な かった。 出荷は順調に進み、品質も良く、高い水準で推移した。収穫作業は9月中旬で終了 し、出荷は10月末で終了した。
キャベツ 〔湖月、冬駒〕	露地	5月上旬から移植が始まった。ほ場の乾燥状態が続いたものの、生育は概ね順調 に推移した。6月は寡照・多雨により生育が緩慢となり、ほ場整備が進まず定植ロー テーションが乱れるほ場が散見された。一方で、7月上旬に高温多照の日が続いたた め生育が回復し、出荷は前倒しとなった。 コナガ・ヨトウガの発生量は平年並で、一部ほ場で菌核病の発生が見られた。出荷 は順調であり、高い歩留まりを維持した。 8月出荷分においては、チップバーンの発生は無く、高品質で推移した。9月は稲刈 りや小麦播種作業のため、出荷は一時的に少なく推移したが、10月に入り出荷が回復 していた。
ブロッコリー 〔おはよう、 ピクセル、 スターラウンド〕	春まきべたがけ～ 春まき、 ハウス栽培 露地 春まき 晩春まき 初夏まき	4月下旬から5月上旬にかけて定植作業が開始された。育苗時期の強日射による高 温での発芽不良や5月中旬の強風、低温により生育被害はあったものの、全体として 生育は順調であった。6月は低温寡照・多雨の気象条件が続く、定植や管理作業が実 施できない状況が続いた。 7月は初旬からの高温により生育が前倒しになり、収穫が次作型と被り収穫日量が 安定しなかった。また、高温多雨により腐敗性病害が目立った。8月、9月は冷涼だ ったため一部では生育が緩慢気味だったものの腐敗性病害は少なく品質の高いものが 出荷された。

花き

作物名 (主な品種)	作型	生育概況、障害、生産、出荷、品質等
オリエンタルユリ シベリア、ソルボンヌ、シーラ等 (2,059a)	越年(加温、無加温) 6~7月切り	<p>出荷は越年作型で6月5日からまった。新球については6月24日から出荷された(平年6月中旬~)。プレルーティング処理(JA施設)は平年並の6月10日より開始。</p> <p>6月の寡照・低温により生育は緩慢であり出荷量も少なかったが、7月の高温により遅れ気味だった生育・出荷は一気に生育が進み、越年作型の出荷ピークは7月6日から、新植作型では7月下旬から出荷開始となり8月中旬前後に出荷が集中した(例年より5~7日早い)。そのため次の定植作業が遅れたハウスが見受けられた。急激な温度変化で「葉焼け」が多く見受けられた。8月に入ると気温が低く推移したため生育が緩慢傾向になり、秋季の品質は良好であった。また10月上旬の高温により最後の開花が進み、夏の定植遅延ハウスでも切り残しなく出荷が終了した。</p> <p>病害虫に関しては、9月にアブラムシの発生やプランターゴ(ウイルス病)の発生が見受けられた。生理障害ではスミ症が見られた。</p>
デルフィニウム (エラータム系) パルフェ、オーロラ (シネンシス系) ミズカ、サクラヒメ (247a)	越年(加温、無加温) 6~7月切り 5~8月定植 夏秋切り	<p>越年株(加温)の1番花出荷は5月14日から始まり、無加温作型はシネンシス系が6月14日から、エラータム系が6月25日から始まった(平年並)。</p> <p>新植の出荷は7月5日から始まった(平年7月中旬)。7月は高温の影響により夏の株枯れが一部で見受けられ、花落ちも目立った。8~9月は気温が低く推移したことから一番花収穫後の草勢低下も見られず、二番花以降もボリュームがあり例年より品質は良好であった。病害虫については5月にカタツムリの食害が目立った。一部で立枯病が見られ、8月にハダニ、ヨトウムシ類の発生が見受けられた。</p>
カーネーション LPバーバラ、ピンクビジュ等 (221a)	越年(加温) 6月切り 新苗 8~11月切り	<p>新苗の定植は3月24日から始まり、5月上旬で終了(平年並)。</p> <p>6月の寡照・低温により生育は遅延して、越年株の出荷開始は6月21日から(平年6月上旬から)共選ラインも6月28日から(平年6月10日頃から)と大幅に遅れた(平年より約10~14日遅れ)。</p> <p>しかし7月の高温により生育は一気に進み、越年株は生育回復・新植は生育前進となり8月上旬から20日まで出荷が集中した(9月分も前倒し出荷)。生育が急激に前進傾向になったため短茎のものがみられ、一部高温により葉先枯れ・プラスチック(蕾が生育を停止・枯死)も見受けられた。9月になると品質はボリュームも出て良好であったが、8月に出荷が前倒しになった分、出荷量は少なかった。病害虫は8月に斑点病・スリップス類の発生が見受けられた。</p>
宿根かすみそう ベールスター、スノーベール等 (220a)	越年株 春夏切り 新苗 夏秋切り	<p>越年株の加温作型で4月27日から出荷開始。無加温作型での出荷は6月12日から始まった(平年並)。</p> <p>新苗の出荷は7月6日から始まり(平年7月2~3半旬)7月の高温により7月12~20日に出荷が集中して8月19日までピークが続いた。8~9月は気温が低く推移したことから、9月以降の生育は緩慢であった。病害虫については6月にハモグリバエ類、7~8月にスリップス類の発生が見受けられたが、全体的に少なかった。</p>
その他 トルコギキョウ (124a) カラー (160a) バラ (116a) 花木 (2,611a) (当別合計 5,915a)	5月定植 8~9月切り	<p>トルコギキョウ: 定植は平年並に5月より順次行われたが、6月の寡照・低温で生育がやや緩慢であった。7月の高温により生育が進んで7月下旬から出荷が増加して、急激な温度変化によりチップバーンの発生・プラスチック(花飛び)も見受けられた。8月は低温傾向だったため9月に入ると生育も良く品質も良好であった。</p> <p>カラー: 4月より定植が開始されて5月23日から出荷開始(例年並)。軟腐病の発生が例年より少なかった。</p> <p>キイチゴ: ハウスで6月30日、露地作型で7月8日から出荷開始(例年並)。紅葉の出荷(ハウス)は9月16日から開始だった。6月は多雨傾向だったわりに、適期防除によりべと病発生が抑えられた。7~8月はコガネムシの発生が多かった。</p>

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

JA北海道中央会

【食と農のイベントを初開催】

「北海道アグリ・フードプロジェクト」が11
月に札幌市で開催され、JAグループ北海道も
企画主体となりブース出展やステージ企画を実
施しました。

道内各地の農畜産物や加工品の試食・販売を
はじめICT関連最新技術の紹介まで全道の出
展者が集まり幅広いブ
ースを展開。農業関係者や
消費者の皆さん等、約
8,000人ももの来場者
が訪れ、農業の最先端技
術に触れる場や、北海道
農業の魅力発信の場とし
ての大きな役割を果たす
イベントとなりました。



会場には畑も出現!



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環と
して、今年で7回目となる「農業経営フォー
ラム」を開催しました。

(株)もち米の里ふうれん特産館の堀江代表
取締役「創業からこれまでのあゆみ」を、
NPO法人失敗学会の飯
野副会長に失敗を成功の
もととする「失敗学」を
テーマに講演頂きました。
参加者からは「大変
勉強になった」「失敗か
ら学ぶことの大切さを教
わった」など好評を頂き
ました。



ホクレン

LINE@等を活用した生産者
向け情報発信サービス「ホクレンイン
フォメーション」では、生産者の皆様
に向けたイベントや新商品の情報、
生産資材(飼料や農薬など)価格、
スマート農業情報などの営農情報を
タイムリーに発信しております。
今後とも生産者の皆様に役立つ
情報を発信して参りますので、ぜ
ひ、お手持ちのスマートフォンやパソコン
(<http://hokuren-news.jp/>)から登録くださ
い。



登録はコチラから↑

JA共済連北海道

11月22日・23日に開催された
「北海道アグリ・フードプロジェクト」で、オ
リジナルキャラクター「ひとのわぐま」の的あ
てゲームを実施し、多くの方に楽しんでいただ
きました。

地域貢献活動の紹介や
キャンペーンチラシを景
品と共に配布し、JA共
済連北海道の活動を知っ
ていただく機会となりま
した。今後もこのような
イベントを通し、JA共
済の周知に取り組んでま
いります。



JA北海道厚生連

JA家庭介護教室では、高齢化
の進展に伴いさらに増加することが見込まれて
いる認知症高齢者への支援として「認知症サ
ポーター100万人キャラバン運動」を展開
し、認知症を正しく理解し支援する「認知症サ
ポーター」の養成や安心で安
全な家庭介護実践のための正
しい技術や知識が習得できる
講義・実技演習を実施しまし
た。安心して暮らせる地域社
会の実現に向けた取り組みを
継続して参ります。



なんでも掲示板

■「師走」もう今年も終わりの月になりました。あわただしくせわしく今年も過ぎてしまいました。子供の時は早く大人になりたいと思ったのですが…。平成30年はもっと健康に気を付けて過ごせたらいいと思います。皆さんにも良いお年でありますように！

(ペンネーム さつまいも子さん)

■今年も残り少ない日々と成りましたが新しい年に期待と希望をいだいて健康に留意し頑張りたいと思って居ます。

(ペンネーム 福袋さん)

■一辺に冬景色に変わって寒さも一段と、寒い家の中の猫はのんびりと眠っています。ねずみいないのかな？

(当別町 藤山 瑛子さん)

■12月に入って雪はそれほどでもないが風がふきますね。風でふぶきになって浜風なので波も高くなっています。海を見ると白波がたつてうなっているように見えます。

(ペンネーム 足さん)

■1年間、クロスワードパズルに楽しく参加させていただきありがとうございました。1年の経つことの早さを、年令を重ねるたびに痛感しております。日本、そして世界で様々な出来ごとがありました1年でしたが、今の平和がいつまでも続きますように祈念しております。

(当別町 岩田 美智子さん)

■冬になって子供たちと遊びにでかける時間ができ楽しんでいきます。でも遊びにでて家に帰っ

てみると雪が沢山積もっている日はがっかり。この冬は早くから除雪作業が大変ですね。

(ペンネーム ポコポコさん)

■楽しく拝見しています。

(ペンネーム ラムちゃん)

■今月は雪が多いですね。来年もこのままだったら積雪が多いのでしょうか。春の事を今から考えると雪が少ない事を願います。

(石狩市 永澤 節子さん)

■今シーズン初の歩くスキーをしてきました。

(ペンネーム ヒマジンさん)

■いつもお世話になっております。

(当別町 菊田 美代子さん)

■1年間「クロスワードパズル」で楽しませていただき有りがとうございました。又来年も楽しみにしています。皆さん、良い年をおむかえ下さい。

(当別町 阿部 準子さん)

■葉物野菜が高値で、鍋を作る機会が少なくなっています。

(神奈川県 藤井 淑江さん)

■職場のYさんが飼っている小型犬、新しい年が来ると12才になるという。可愛いと子供のように話している。犬年生まれです。

(石狩市 山本 美代子さん)

■今年もあと少しになりましたネ。体に気を付けて来年もガンバリましょうネ。

(当別町 佐々木 ミヨ子さん)

■いよいよ寒さも本番です。そんな中にこの季節ならではの楽しみもあります。ダンナさんの従姉の家の庭には、12月に入る前からイルミネーションが飾られとてもきれいです。孫さんを楽しませるだけでなく隣近所、車で通りかかる人達にも楽しい。

(ペンネーム 孫6人になりましたさん)

■私は数日前、夫は7月に救急車のお世話になりました。雪の多い田舎で安心して暮らせるのも救急隊員の方々のお蔭です。礼儀正しく無駄のない的確な動き、温かい言葉、どんなに安心したかわかりますか？感謝しています。みなさんありがとう御座います。来年の幸をお祈り致します！

(当別町 小松 知代子さん)



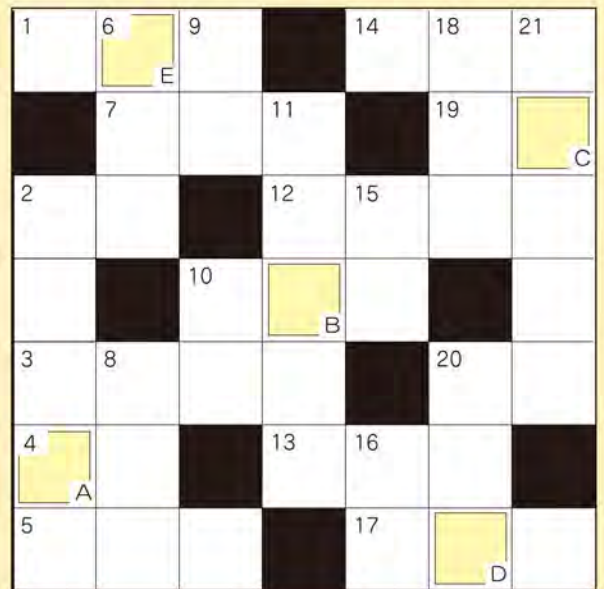
ここに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢などの個人情報、この広報誌以外で使用することはありません。

クロスワードパズル

二重マスの文字を
A～Eの順に並べてできる
言葉はなんでしょうか？

タテのカギ

- 2 ……友人の結婚式をみんなで—した
- 6 ……魚の下ごしらえの際に取ることも
- 8 ……将棋に似た西洋のゲーム
- 9 ……五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- 10 ……温めた豆乳から引き上げます
- 11 ……アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- 15 ……ドストエフスキーの著書「—と罰」
- 16 ……寒い日にはポツと赤くなる人も
- 18 ……ホルトと組み合わせて使います
- 20 ……セーフの対義語
- 21 ……模試では合格の—が80%だった



ヨコのカギ

- 1 ……2018年の五輪は平昌で行われます
- 2 ……力士が踏むもの
- 3 ……ツルのものは長く、カモのものは平たい
- 4 ……尺八やフルートはこの仲間
- 5 ……医師に処方してもらうものの一つ
- 7 ……ずいぶん—が飛翔しているなあ
- 10 ……銀世界を眺めて楽しむこと
- 12 ……日本—が寒波に覆われた
- 13 ……スマホで明日の天気—を調べた
- 14 ……漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- 17 ……桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- 19 ……鬼の頭に生えています
- 20 ……バレンタインの本命チョコに込めます

12月号の答え・当選者 **A B C D E**
フ ク ブ ク ロ

今回20名の応募の中から、抽選の結果次の3名の方が当選しました。おめでとうございます。

ペンネーム 足さん
当別町 菊田 美代子さん
石狩市 永澤 節子さん

郵便はがき
〒061-0295
JA 石狩郡当別町
北いしかり 錦町53番地57
企画管理課 行

- ①パズルのこたえ
- ②〒・住所・電話番号
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤意見や要望、身近にあった出来事などの情報をお寄せ下さい。紹介させていただきます。

【応募方法】

- 氏名や住所を伏せたい場合は、その旨ご記入願います。
 - ファックス・Eメールによる応募も受付いたします。
- FAX : (0133)22-2615
Eメールアドレス : kanri03@ja-kitaishikari.or.jp

【締切日】

平成30年1月26日(金) 到着分まで

【賞品】

正解者の中から抽選で3名の方へ約2000円相当の当JA加工品の詰め合わせをさしあげます。



北海道地方の気温・降水量 2か月予報

月別の予想

1月

冬型の気圧配置は平年より弱く、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

平年の日数	晴れ	降水
札幌(日本海側)	11.6	18.1
網走(オホーツク海側)	15.4	12.9
釧路(太平洋側)	23.4	5.0



2月

冬型の気圧配置は平年より弱く、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。オホーツク海側・太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

平年の日数	晴れ	降水
札幌(日本海側)	12.1	16.0
網走(オホーツク海側)	17.1	8.6
釧路(太平洋側)	21.5	4.0



(晴れ日数:日照率が40%以上の日数 降水日数:日降水量が1mm以上の日数)

〈第12回理事会〉

12月15日午後3時00分より、本所第1会議室にて開催されました。

Ⅰ. 監事監査報告（第3四半期定期監査）

Ⅱ. 議事

議案第1号 組合と理事の契約について

議案第2号 組合員の出資持分譲渡並びに出資口数の減少について

議案第3号 JAグループ北海道米需要拡大・需給安定対策に係る拠出について

議案第4号 年末手当の支給について

Ⅲ. 報告事項

(1) 各事業報告及び財務報告並びに仮決算報告（平成29年11月末）

(2) 固定資産の取得並びに賃貸契約について

(3) 組合員の加入・脱退について



組合員資格確認のお願い

当JA定款規程により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA本所・企画管理課、または各支所・管理金融課および事業所へお申し出いただきますようお願い致します。

当組合員の組合員資格

○正組合員資格○

(1) 30アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

(2) 1年のうち120日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

(3) 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

○准組合員資格○

(1) この組合の地区内に住所を有する個人でこの組合の事業を利用することが適当と認められるもの

(2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

(3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

※当組合の地区は、札幌市、石狩郡当別町、石狩市厚田区及び、浜益区の区域です。

JAの自動車共済「人身傷害保障」

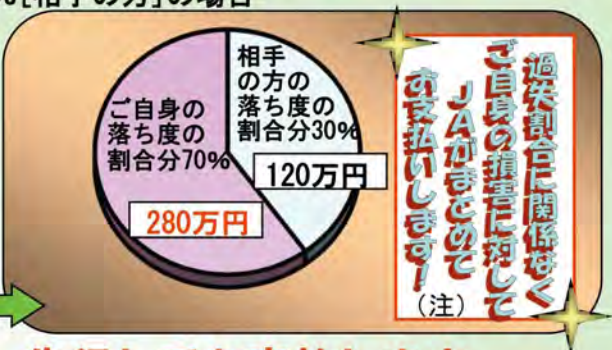
人身傷害保障は、被共済者が被共済自動車もしくは被共済自動車以外の自動車に搭乗中または歩行中に、自動車事故によって死亡したり、負傷したときの損害を保障するものです。

1. 相手の方からもらえないご自身の落ち度の割合分の保障

◀ お支払いの例 ▶ 過失割合 70%[ご自身] : 30%[相手の方]の場合

- ★右腕・右足骨折
- ★入院4ヶ月
- ★退院後通院3ヶ月
(1ヶ月に10日)
- ★月収30万円

治療費：約110万円
(健康保険使用・高額療養費制度非適用の場合)
休業損害：約150万円
(治療のために仕事を休んだ損害)
精神的損害：約120万円
(交通事故による精神的な損害)
入院雑費・通院交通費等：約20万円
被害額総額：400万円



2. 相手の方との示談を待たずに、先行してお支払します

人身傷害保障条項なら、示談を待たずにJAが全額まとめて先行してお支払いします。

3. 単独の事故の場合の保障

運転中に電柱やガードレールに衝突した場合など、今までどこからも保障されなかった場合でも保障されます。

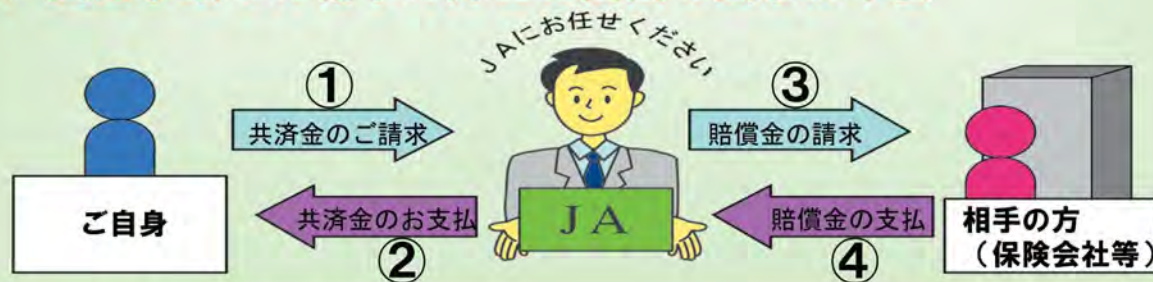
4. ご自身やご家族の歩行中の事故についての保障

ご自身やご家族の方が、お車に乗っているときだけでなく、歩行中や自転車に乗っているときの交通事故も保障されます。

5. 交通事故の相手の方に支払ってもらえない場合の保障

相手の方から十分な賠償を受けられない場合や、ひき逃げなど相手が不明の場合でも保障されます。

6. 交通事故での相手の方との面倒な交渉は不要



JA北いしかり

本所 ☎0133-23-2530

西当別支所 ☎0133-26-2111

厚田支所 ☎0133-77-2311

浜益事業所 ☎0133-79-2131

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。支払われる共済金については、「リーフレット」、「保障設計書」を必ずご覧ください。
※このチラシの有効期限は平成29年9月30日までです。

(注)
・(1回の事故で被共済者1名について)ご契約で定めた共済金額が限度です。
・総損害額は共済約款において定めた基準により算定した額とします。

JA共済
【17019990009】

1

JANUARY

2018
No.225

発行 北石狩農業協同組合
編集 企画管理部 企画管理課
住所 〒061-0295 石狩郡当別町錦町53番地57
電話 0133-23-2530
ホームページアドレス <http://www.ja-kitaishikari.or.jp>
Eメールアドレス kanri03@ja-kitaishikari.or.jp

KITAISHIKARI
PUBLICATION